

カルテ資料

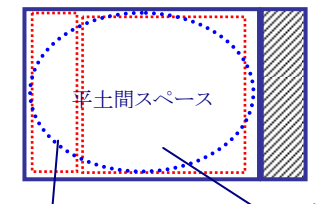
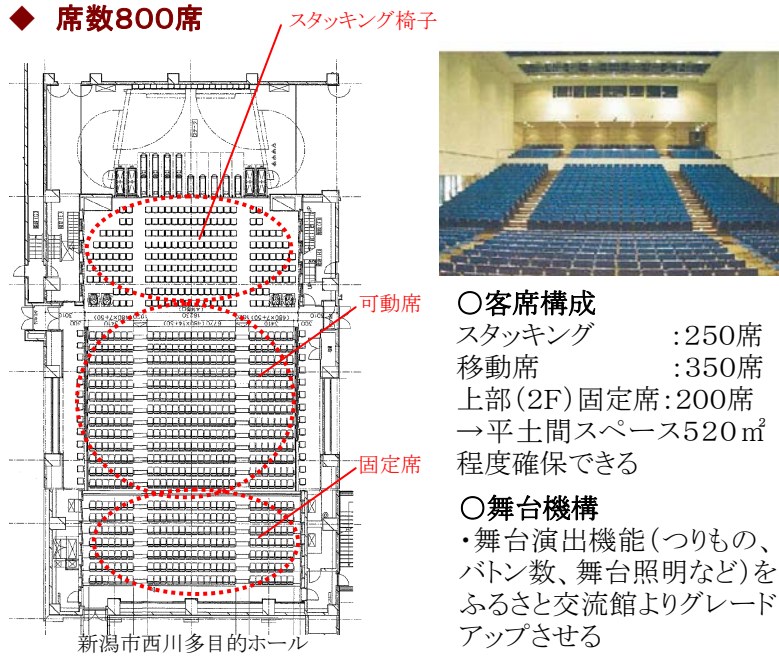
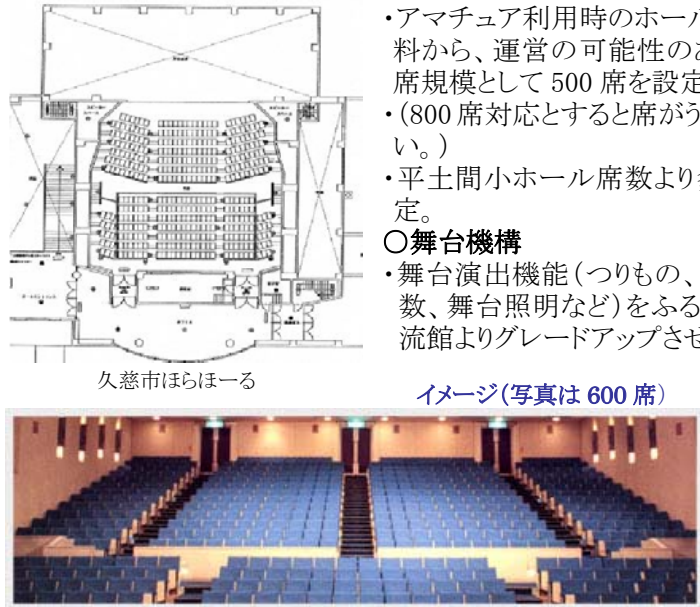
[ホール ～ホール組合せ～]

カルテ資料 ～ホール（ホール組合せ）～

■ふるさと交流館を含めたホール機能のすみ分けについての検討

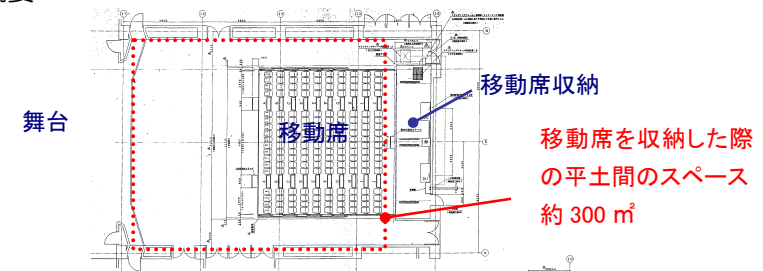
第1回ホール部会より抽出した意見を踏まえ、村内施設の機能分他の観点から計画複合施設のホールの規模機能の構成を検討する。

■既存ホール・小ホールを含めたホール機能の構成-1

概要	小ホール	大ホール	長所	短所
<p>CASE-1 〔移動、可動席 大、小共に〕</p> <p>■平土間活用を重視したケース</p> <p>○小ホールのみでなく、大ホールを「ふるさと交流館」の高いホール利用率の利点を生かした移動席のホールとする。</p> <p>○大ホールで要求のある多い席数(800席)の対応可能とする</p>	<p>◆ 平土間式のリースペース(約300㎡)</p>  <p>ステージスペースのみで可動舞台又は平土間のまま(講演会・講習会など)</p> <p>客席スペース 観覧型の催しの場合、スタッキングチェア</p> <p>○想定規模 観覧型の催しでは300席以上のものが少ないこと、また、大ホールの平土間スペースが大きく(約500㎡)確保できることから、小ホール規模を以下に設定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・300程度のスペース+ステージスペースとして280㎡ ・収納スペースとして30㎡ <p>計310㎡</p>	<p>◆ プロセミアム型多目的スペース</p> <p>◆ 移動席+スタッキング椅子による客席</p> <p>◆ 席数800席</p>  <p>スタッキング椅子</p> <p>可動席</p> <p>固定席</p> <p>新潟市西川多目的ホール</p> <p>○客席構成 スタッキング : 250席 移動席 : 350席 上部(2F)固定席: 200席 →平土間スペース520㎡程度確保できる</p> <p>○舞台機構 ・舞台演出機能(つりもの、バトン数、舞台照明など)をふるさと交流館よりグレードアップさせる</p>	<p>＜小ホール＞ ・健康診断や大規模な会議などの幅広い利用が可能で、会議室(大)を兼用することが可能。</p> <p>＜大ホール＞ ・ふるさと交流館と同様に高い稼働率が予想できる。 ・800席確保しているため国の文化補助事業及びその他の助成金補助が想定できる。 ・成人式ほか小中学校の合同イベントなど可能な席数。</p>	<p>＜小ホール＞ ・なし</p> <p>＜大ホール＞ ・鑑賞型の催しでは客席数を生かすきれない。前面の250席程度までしか埋まらない可能性がある。</p>
すみ分け				
<p>・ふるさと交流館を含め、ホール席数に関しては大小の機能分担を行っている。</p> <p>・大ホールの機能がふるさと交流館と類似し、基本的なホール仕様としての機能の分担は少ない。→規模は異なるがよく似たホールを作ることになる。</p>				
<p>CASE-2 〔大ホールのみ固定〕</p> <p>■村内に固定席ホールをつくる(大ホールのパターン)</p> <p>○村内に(全席)固定席ホールが無い場合、大ホール全席固定席の本格的ホールとする。</p> <p>○活用性を考慮し、小ホールは平土間式とする。</p> <p>○大ホール500席</p>	<p>(同上)</p>	<p>◆ プロセミアム型多目的スペース</p> <p>◆ 全席固定、席数500席</p>  <p>久慈市ほらほーる</p> <p>イメージ(写真は600席)</p> <p>○席数: ・アマチュア利用時のホール使用料から、運営の可能性のある客席規模として500席を設定 ・(800席対応とすると席がうまらない。)</p> <p>○舞台機構 ・舞台演出機能(つりもの、バトン数、舞台照明など)をふるさと交流館よりグレードアップさせる。</p>	<p>＜小ホール＞ ・健康診断や大規模な会議などの幅広い利用が可能、会議室(大)を兼用することが可能。</p> <p>＜大ホール＞ ・固定席による鑑賞グレードを向上。 ・前面席から段差、座席角度があり鑑賞しやすい。 ・大ホール:500席により面積削減→イニシャル・ランニング削減</p>	<p>＜小ホール＞ ・なし</p> <p>＜大ホール＞ ・鑑賞型の催しでは客席数を生かすきれない。(ふるさと交流館でも余っている) ・成人式利用や助成金の利点など長所なし。</p>
すみ分け				
<p>・固定席ホールを村内施設として導入できる。</p> <p>・合同演奏会など席数が必要な場合は県民会館利用を考慮。</p> <p>・岩手県民会館中ホールに近い機能。→広域でのすみわけが出来ていない</p>				

〔最終案〕
CASE-1の考えをベースにして、
小ホール 約250㎡
大ホール 平土間約500㎡(500席程度)

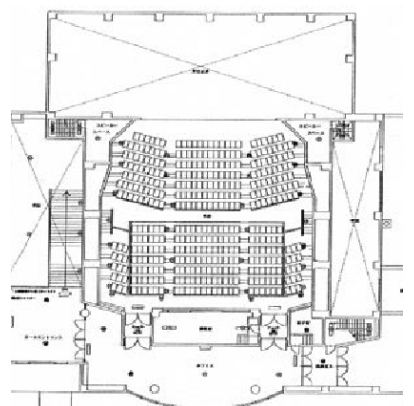

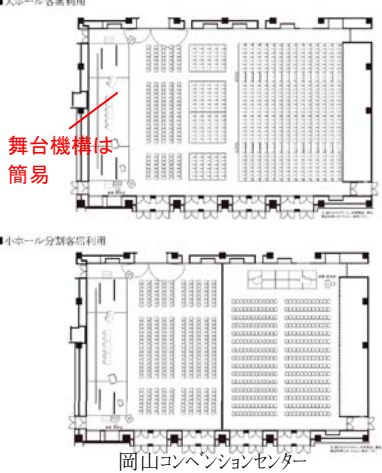
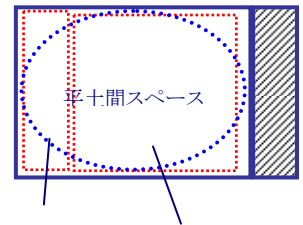
■ふるさと交流館機能の概要



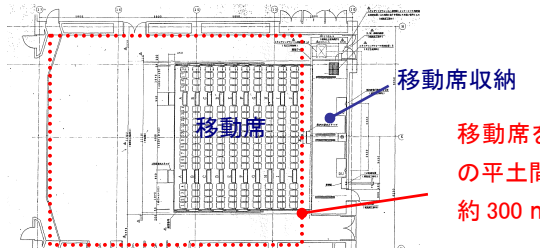
- ホールの構成
- ・プロセミアム型多目的ホール
 - ・客席数350席(移動席:180席、スタッキング椅子席170席)
 - ・移動席を収納した際の平土間スペースの面積:約300㎡
 - ・移動席の席幅480mm

- 舞台機構
- 良い点—
- ・演劇鑑賞では演者の表情など臨場感のある規模。
 - ・ホール規模は、生演奏が対応できる規模であり、残響2秒を確保できる。
- 悪い点—
- ・照明機能、吊もの数、バトン数など舞台演出機能としてのグレードはあまり良くない。

- 利用状況
- 良い点—
- ・平土間利用により全体稼働率が高い。
- 悪い点—
- ・鑑賞型の催しでは350が埋まらない
 - ・移動席は揺れ・椅子仕様などにおいて固定席にくらべ鑑賞席のグレードが低くなる。
 - ・移動席のメンテナンスなど手間がかかる。

概要	小ホール	大ホール	長所	短所
<p>CASE-3 〔小ホールのみ固定1〕 ■村内に固定席ホールをつくる (小ホールのパターン)</p> <p>○村内に(全席)固定席ホールが無い ため、小ホール全席固定席の本格的 ホールとし、主催者側が利用しやす く、また臨場感のある本格ホールと する。</p> <p>○大ホールは小ホールと機能を分け、 舞台演出の催しではないイベントを 主としたホールとする。 尚、要求されている多い席数対応 可能とするため移動席型とする。</p>	<p>◆プロセニウム型多目的スペース ◆全席固定、席数300席</p>  <p>久慈市ほらほーる</p>  <p>○席数: ・アマチュア利用時のホール 使用料から適度な客席規模として 300席を設定 ・演者の表情がわかる臨場感 のある適度</p>	<p>◆イベント型ホール(具体機能は 簡単) ◆移動席+スタッキング椅子による 客席 ◆席数800席</p>  <p>岡山コンベンションセンター</p> <p>○客席構成(設定) スタッキング:250席 移動席:350席 上部固定席:200席 →平土間スペース520㎡</p> <p>○舞台機構 ・舞台演出機能を省略した機能。 音楽コンサートは可。 ○イベント型として特化 ・可動間仕切り、昇降床により 運用性が更に高まる</p>	<p>＜小ホール＞ ・鑑賞グレードの高い段床固定席 ホールを村内に確保できる。 ・アマチュアが使用する舞台鑑賞 としては良い規模(小規模)。 ・前面席から段差。座席角度があり 鑑賞しやすい。 ・他地域からの利用者の可能性あり (周辺に無い固定席規模)</p> <p>＜大ホール＞ ・イベント型に特化し、展示利用や 屋外との連続性など活用幅が広 がる。 ・舞台演出以外では多い席数に対 応できる。</p>	<p>＜小ホール＞ ・固定席のため高い稼働率が見込 めない。</p> <p>＜大ホール＞ ・ケース1・2に比べコストアップ要 素が多い。</p>
すみ分け				
<p>固定席ホールを村内施設として導入できる。 ・客席規模のすみ分けもできている。</p>				
<p>CASE-4 〔小ホールのみ固定2〕 ■村内に固定席ホールをつくる (小ホールのパターン)</p> <p>○村内に(全席)固定席ホールが無い ため、小ホール全席固定席の本格的 ホールとし、主催者側が利用しやす く、また臨場感のある本格ホールと する。</p> <p>○大ホールは小ホールと機能を分け、 完全に平土間ホールとする。 尚、規模は観覧型催しで400～ 500席程度まで可能とし、小ホール 、ふるさと交流館より多くする。</p>	<p>(同上)</p>	<p>◆平土間式のフリースペース(約400～450㎡)</p>  <p>平土間スペース (講演会・講習会など)</p> <p>○想定規模 400～500席程度のスペース+ステージ スペースとして370～420㎡、及び 収納スペースとして30㎡</p>	<p>＜小ホール＞ ・鑑賞グレードの高い段床固定席 ホールを村内に確保できる。 ・アマチュアが使用する舞台鑑賞 としては良い規模(小規模)。 ・前面席から段差、座席角度があり 鑑賞しやすい。</p> <p>＜大ホール＞ ・平土間式のフリースペースとして 健康診断や大規模な会議などの幅 広い利用が可能で、会議室(大)を 兼用することが可能。 ・社交ダンスやスポーツ利用をア ップできる。(武道系を2面コート配 置可能)</p>	<p>＜小ホール＞ ・固定席のため高い稼働率が見込 めない。</p> <p>＜大ホール＞ ・成人式など多い席対応ができな い。</p>
すみ分け				
<p>固定席ホールを村内施設として導入できる。 ・ホール規模がふるさと交流館を含 めた3施設で比較的近い。 ・合同演奏会など席数が必要な場 合は県民会館利用を考慮。</p>				

■ふるさと交流館機能の概要



移動席収納
移動席を収納した際の平土間のスペース約300㎡

■ホールの構成

- ・プロセニウム型多目的ホール
- ・客席数350席(移動席:180席、スタッキング椅子席170席)
- ・移動席を収納した際の平土間スペースの面積:約300㎡
- ・移動席の席幅480mm

■舞台機構

—良い点—

- ・演劇鑑賞では演者の表情など臨場感のある規模。
- ・ホール規模は、生演奏が対応できる規模であり、残響2秒を確保できる。

—悪い点—

- ・照明機能、吊もの数、バトン数など舞台演出機能としてのグレードはあまり良くない。

■利用状況

—良い点—

- ・平土間利用により全体稼働率が高い。

—悪い点—

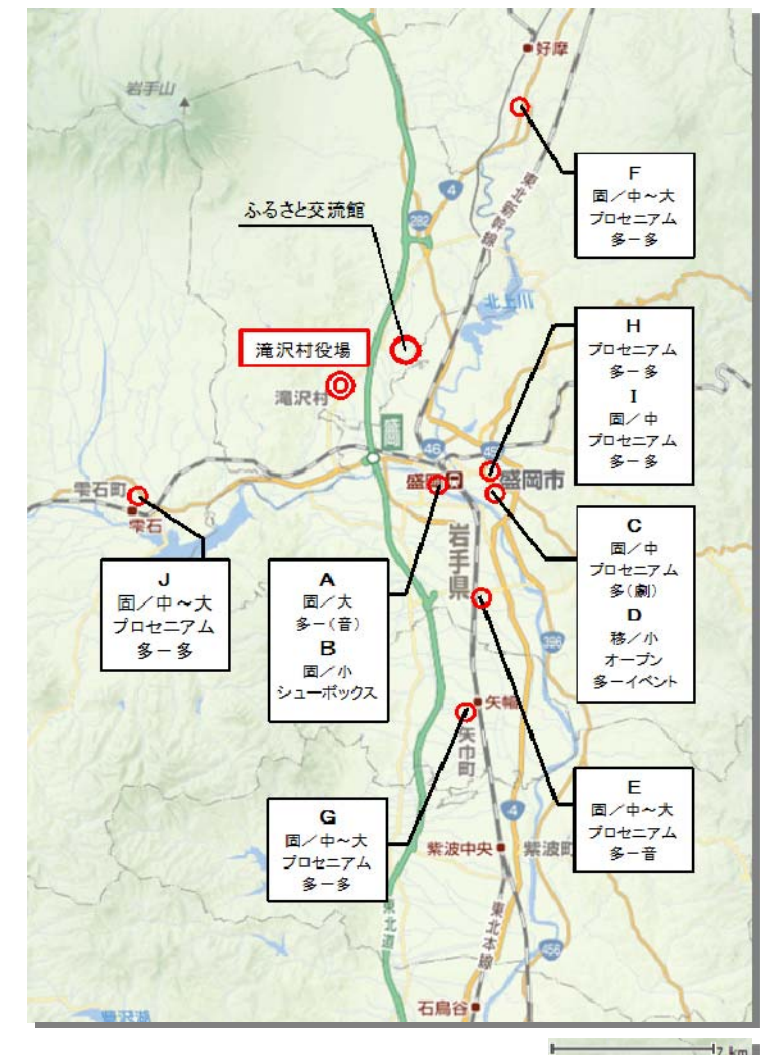
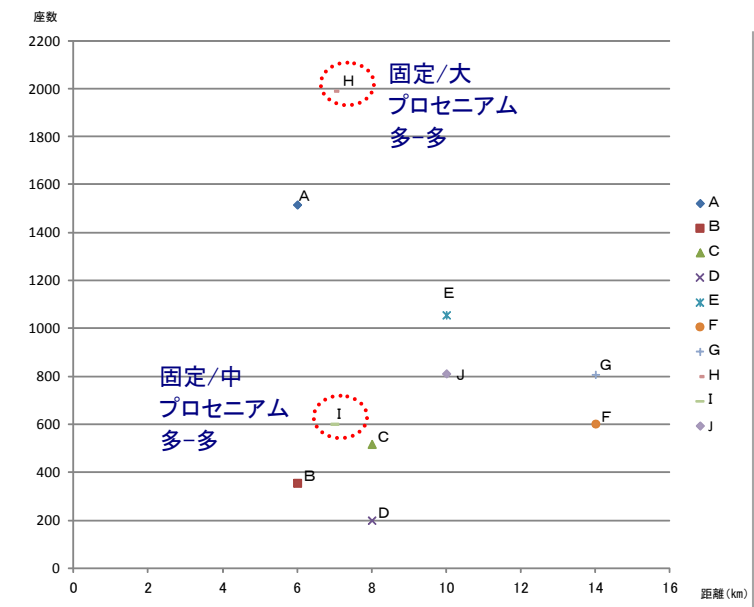
- ・鑑賞型の催しでは350が埋まらない
- ・移動席は揺れ・椅子仕様などにおいて固定席にくらべ鑑賞席のグレードが低くなる。
- ・移動席のメンテナンスなど手間がかかる。

カルテ資料 ～ホール（ホール組合せ）～

凡例

固	: 固定席	客席規模と客席形式	固	移	
移	: 移動席	小	: 300席前後	1	1
多-多	: 応用性の高い多目的ホール	中	: 500~600席前後	3	0
多-(音)	: 音楽鑑賞向きの多目的ホール	中~大	: 800~1000席前後	3	0
多-(劇)	: 演劇観賞向きの多目的ホール	大	: 1500~2000席	2	0

ホール	特徴	客席数	利用状況の特徴	備考
ふるさと交流館	プロセニウム型多目的ホール	可動席 180 席、移動席 170 席、計 350 席	・ステージを使用しない利用が約半分である。 ・プロのコンサートが 6 件と少なく、しかもその内 5 件が朗読コンサートである。	移/小 プロセニウム 多-多 生音声に優れる
A 盛岡市民文化ホール大ホール	プロセニウムアーチを持つ劇場型ホール コンサート以外にオペラ、バレエ、各種集会などさまざまな利用に対応できる。	固定席 1510 席、車椅子席 6 席	・プロの音楽コンサート、演劇等の利用が半数程度、残りの半数程度はアマのコンサート、大会等と思われる。	固/大 プロセニウム 多-(音)
B 盛岡市民文化ホール小ホール	シューボックス型ホール 優れた音響により、パイプオルガンコンサートからピアノリサイタル、合唱、声楽などさまざまな音楽利用に対応したホール。	固定席 350 席、車椅子席 6 席	・350 席の固定席であり 4 割程度が入場料を徴収する興行である。 ・約半数程度がアマチュアの発表会のように、アマチュアの発表会ではこの程度の席数が使いやすいかもしれない。	固/小 シューボックス 音専
C 盛岡劇場(河南公民館)メインホール	舞台の床を上下に移動できる大迫りや、音響反射板を備えたほか、仮設の本花道も使用でき、演劇や舞踊、古典芸能などの本格的な公演、各種音楽コンサートに対応したホール。	固定席 511 席、親子席 7 席	・約 500 固定席の固定席でも 3 割程度が入場料を徴収する興行である。 ・約 7 割がアマチュアの発表会である。	固/中 プロセニウム 多-(劇)
D 盛岡劇場(河南公民館)タウンホール	舞台、客席を自由に設定できるオープンスペース。ロックやジャズの演奏会、演劇、各種コンサート等に利用できる。	172.75 平方メートル、移動席 100 から 200 人	・完全に演劇に特化したホールになっていると思われる、ステージはないが「演劇ホール」として位置付けられている例である。	移/小 オープン 多-イベント
E キャラホール(都南文化会館)	音楽を中心とした多目的ホールで、室内音楽専用ホールに近い性能をめざした設計が成されており、最高の音質を客席に届けることができる音響反射板のほか目的に合わせて残響時間を調整できる残響可変装置が設置されている。また、釣鐘型ホールが採用され、客席は舞台と一体となるワンスローブ形状である。	固定席 1042 席、車椅子席 4 席、親子席 10 席	・都南地区の施設であり、都南地区の利用が多いようなので、当村の施設で同規模の固定席をシュミレーションする上で参考になると思われる。 ・8 割程度がアマチュア利用である。	固/中~大 プロセニウム 多-(音)
F 姫神ホール	音楽、演劇、舞踊、式典など、あらゆる文化芸術活動やイベントに対応できる多目的ホールです。 空席時反射板使用 1.42 秒(空席時幕使用 1.18 秒)	固定席 600 席、車椅子席 3 席(スペース)	・玉山区の施設で、区の催しを中心に活用されている。	固/中~大 プロセニウム 多-(音)
G 田園ホール(矢巾町文化会館)	矢巾町文化会館(田園ホール)は音響設備を充実させた県内初の本格的音楽ホールです。東北共立は「賑わいのある施設」をテーマにし、指定管理者としてよりよいサービス提供ができるよう、努めてまいります。	定員: 808 名(身障者席: 4 席 母子室: 6 席)	・町の施設であり、町の催しを中心に活用されている。	固/中~大 プロセニウム 多-多
H 岩手県民会館大ホール	多目的ホール(音楽・演劇・舞踊・式典・大会等)	1,991 席 1 階 1,287 席(車椅子席 9 席・オーケストラピット含む) 2 階 400 席 3 階 304 席	・約 8 割がプロの興行でようある。 ・アマは、高校の音楽発表など学校単位や県内各校が集まるもの、県の芸術祭舞台部門などが多そうである。	固/大 プロセニウム 多-多
I 岩手県民会館中ホール	多目的ホール(音楽・演劇・舞踊・式典・講演会等)	602 席(車椅子席 2 席含む) 座席表	・アマチュアの発表が約半分、県主催の講演会等が約 4 割とこの二つでほとんどを占めるようである。 ・県の施設であるため、県主催のものについて中ホールが使われているようである。 ・プロの音楽、パフォーマンスについては、盛岡市民文化ホールなどととも活用されていると思われる。	固/中 プロセニウム 多-多
J 雫石中央公民館(野菊ホール)	プロセニウムアーチを持つ多目的ホール(音楽・演劇・舞踊・式典・講演会等)	固定席 808 席、車椅子席 4 席	・雫石町の施設であり、町の催しを中心に活用されている。	固/中~大 プロセニウム 多-多



※ホームページから得た情報を元に作成。